

4年生部会 部報

第2回 平成28年5月31日（文責：信濃小 山田）

下水事業の教材化と大まかな単元構想

先日行われた部会では、東部水再生プラザと東部スラッジセンターの取材の結果や、各自調べてきた情報を基に下水事業の教材化や単元構想について話し合いました。

<単元の導入> 豊平川の写真の比較

昔：汚い川 ←————→ 今：サケが戻るほどきれいな川

下水の仕組みや下水に携わる人の工夫や努力に対する
問題意識の醸成

～下水をきれいにする～

東部水再生プラザ

<特長>

- ・再生プラザの中で唯一砂ろ過という処理をしている

<仕事で大切にしていること>

- ・けがをしない
- ・経費削減

<やりがい>

- ・人の生活になくってはならないものの処理・処分をしている
- ・電気・機械の高度な国家資格を有して仕事に当たる

※下水の変遷を理解するために年表を活用

～汚泥を処理する～

東部スラッジセンター

<特長>

- ・24時間体制
- ・95%以上の汚泥を回収し、回収した汚泥は100%処理
- ・処理した汚泥はセメント原料として利用

<仕事で大切にしていること>

- ・処理を止めないこと
- ・効率的な運転

<やりがい>

- ・人のやりたがらない仕事で、人のためになる

本時は水再生プラザかスラッジセンターの辺りで検討中。

- ・下水事業が健康な生活の維持・向上に役立っているという見方・考え方の獲得
- ・下水に流す時に、環境に良いか考えることができる子に（参画）

次回は単元構成や本時の学習問題を中心に話し合う予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。